

第10回

日本セラミックス協会マテリアル・ファブリケーション・デザイン研究会 サテライトセミナー

「独創性と品質の高い研究の遂行・大型予算と共同研究費の獲得」

材料の本質はもの作りであり、プロセッシングは、すべての研究に共通する必然です。また必要なマテリアルデザインの実現のためには、最適なファブリケーションデザインがなければ、達成することはできません。研究開発を精力的に行うためのインプットである研究予算獲得から、アウトプットである高品質な論文や産学官連携における社会還元、またそれらインタラクションである高効率な研究システムは、大学研究者にとっては非常に重要な事項です。そしてこれらを正当に評価するシステムも重要です。今回は、大型予算と共同研究費の獲得するための考え方から、品質の高い研究をするための研究室運営、大学における研究者の評価という多様な観点で、御講演いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

主 催:日本セラミックス協会MFD研究会

後 援:日本セラミックス協会

協 賛:化学工学会反応工学部会ソノプロセス分科会

日 時: 2020年3月2日月曜日 13:00~17:00(講演会)

18:30~ (懇親会・場所未定)

場 所: 東北大学サイエンスキャンパスホール

参加費: 無料 (懇親会費は別途)

プログラム

13:00 開会 13:00~13:30 東北大学大学院工学研究科 准教授 林 大和

「大学研究者における共同研究と大型予算の関係とその評価の重要性」30分

13:30~14:10 (招待講演 1) 東北大学 NICHe 開発企画部 田中邦典先生 (経済産業省から出向中)

「経産省における産学連携等の取組について」

14:10~14:50 (招待講演 2) 東北大学研究推進・支援機構 URA センター マーク ハンゼン先生

「大学のデータベース評価と研究の目利き」

15:00~15:30 (招待講演 3) 東北大学工学部富重研究室 中川善直先生

「論文を生み出す研究室運営の工夫」

15:30~15:55 (招待講演 4) 元 住友金属鉱山株式会社 技術本部

技術企画部 先端技術企画グループ 担当課長 田所文雄様

「企業に於ける、大学の研究開発を活用する開発企画の視点」

15:55~16:20 (招待講演 5) 東北大学産学連携推進機構 齋藤悠太様

「大学の産学連携における現在と未来」

16:20 全体討論

18:30 懇親会

申込・連絡先 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-07

東北大学大学院工学研究科応用化学専攻 林 大和

TEL:022-795-7226 E-mail:hayashi@aim.che.tohoku.ac.jp